

情報公開

転移性腎細胞がん治療のため

当院でアベルマブ（バベンチオ®）とアキシチニブ（インライタ®）をご使用されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究へのご協力をお願い

このたび当院では、転移性腎細胞がん治療のため、アベルマブ（製品名：バベンチオ）とアキシチニブ（製品名：インライタ）をご使用されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

[臨床研究課題名]

一次治療としてアベルマブとアキシチニブ併用療法を受けた日本人転移性腎細胞癌患者における治療関連アウトカム評価のための多施設共同、後ろ向き観察研究

[臨床研究の目的]

この研究では、2019年から2020年の間にどのような患者さんがバベンチオとインライタ併用療法の治療を受けられたか、またその効き目を調査することを目的にしております。

[臨床研究の意義]

この研究は、バベンチオとインライタの併用療法で治療された患者さんを対象に実施しております。バベンチオとインライタ併用療法は効果（効き目）と安全性（副作用など）が確認され、国により審査されたうえで2019年に製造・販売することを許可されました。この研究は、2019年から2020年の間にどのような患者さんがバベンチオとインライタ併用療法の治療を受けられたか、またその効き目を調査することを目的に実施します。この研究から得られた情報が、将来、他の同じ病気を抱える患者さんの助けになる場合があります。

[臨床研究の方法]

この研究は、転移性腎細胞がん患者さんのうち、2019年12月20日から2020年12月20日までの間にバベンチオとインライタ併用療法が開始された患者さんを対象に、カルテの情報を安全なオンラインウェブサイトを用いて集め、治療効果や副作用の発現などについて解析します。

なお、この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、負担軽減費の支払いはありません。

[研究に用いる情報の種類]

利用させていただくカルテ情報は下記の通りです。

バベンチオとインライタ併用療法の治療を受けた患者さんの基本情報（年齢、性別、合併症等）、治療経過・治療中止日・中止理由、バベンチオとインライタ併用療法終了後の治療薬、死亡の有無などを含む治療転帰等

[外部への情報の提供]

本研究で得られる個人情報をご当院以外に提供する際には、研究スタッフは患者さんの名前を特定のコード番号に置き換えることで、直接患者さんを特定できないようにします。当院は、このコード番号と患者さんの個人情報を結びつけるための情報を持っていますが、提供先の機関（「この研究で得られた情報を利用する者の範囲」参照）はこの情報を持っていません。提供先の機関は、患者さんの匿名化された情報を保護する責務があり、患者さんを特定することはありません。

[この研究で得られた情報を利用する者の範囲]

本研究で患者さんの情報を扱う機関および責任者は以下の通りです。

- ・ ファイザー株式会社 オンコロジー部門 メディカル・アフケアーズ部 松井 暁子
- ・ メビックス株式会社 研究推進本部 村林 裕貴

[この研究に関する情報の公開について]

この研究について、研究計画や関係する資料、患者さんご本人に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

[個人情報の取り扱いについて]

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公開されません。

また、将来、同一の薬剤を用いた研究やこの研究の対象となる疾患または関連する疾患の研究、国内外の医薬品としての承認を得る目的、研究結果の報告書や研究論文などの作成のため利用される可能性があります。その際も患者さんを特定できる個人情報は公開されません。

[利益相反]

この研究は、製薬会社のファイザー株式会社の資金により実施されます。また、我々の教室はファイザー株式会社から奨学寄附金を受けています。

研究を行うにあたっては、企業の利益のために公正で適正な判断が妨げられている状態、または損なわれるのではないかと第三者に疑われる状態になることがあります。このような状態を「利益相反（conflict of interest）」と呼びます。公正かつ適正な判断が妨げられた状態としては、資金などの提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを解釈することや、都合の悪いデータを無視してしまう傾向にある状態などが考えられます。

ファイザー株式会社は研究期間中のデータベースへのアクセスを含むデータマネジメント業務、および解析には関与せず、研究の実施に関する法令に従って、第三者による研究データの信頼性の確認が実施されますので、研究結果がファイザー株式会社により有利に歪められることはありません。

*情報がこの研究に用いられることについて、患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんや患者さんのご家族などに不利益が生じることはありません。

[連絡先・相談窓口]

大阪大学医学部附属病院 泌尿器科
研究責任医師：(職名) 加藤 大悟 (助教)
住所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号
電話：06-6879-3531 FAX：06-6879-3539

なお、この研究はファイザー株式会社が、開発業務受託機関であるメビックス株式会社に委託し実施いたします。